



とうぎん しょう

東山の雄

一関市立千厩中学校
学校だより 第12号
令和6年6月14日
文責：菊池

「三つのこうありたい～命の大切さを理解し、大切にすること～」を考えた時間

6月4日（火）の5・6校時に、3学年対象の思春期講演会が開催されました。講師に一関保健センターに所属し、母子保健コーディネーターとして母子のサポートを行っておられる、加藤 瞳 先生をお招きして、「からだ・健康・いのち」について幅広くお話ししていただきました。

60分ほどお話ししていただき、うっすらとしか分からなかった事柄について理解を深めていました。

詳しい内容については生徒の感想を参考にしてください。

＜お話の大まかな内容＞

- ・助産師のお仕事
- ・二次性徴って何？
- ・思春期の身体の変化・特徴
- ・多様な性
- ・人はどうして生まれるのか？
- ・あなたの大切な命
- ・防犯のために知っておきたい『No, Go, Tell』



《加藤 瞳 先生》

【生徒の感想】

今日の講演会で聞いた話が全部難しくてよくわからないことが多かったです。だけど、将来役に立つことだと思ったので、この講演会の内容を頭の中で覚えておこうと思いました。また、今日の講演会の中でLGBTQが印象に残りました。自分がLGBTQを知らなかったということも大きいかもしれませんが、性別に縛られないってことが一番いい所だと思いました。（3A女子）

今日の思春期講演会を聞いて、自分が生まれてきたばかりのころの頭の大きさは約10cmであったり、思春期の男性と女性の心とからだについて知ったりできたのでこれからは、相手のことを考えた行動を心がけていきたいと思いました。今日の講演会の内容を忘れないようにしたいです。（3A男子）

最初見た、6人の女性がボールをパスする映像から、1つのことに集中するとまわりが見えなくなることがよく分かりました。人の心や体についても新しく知ることができました。また、「今、自分がここにいるのが当たり前ではない」ということが心に残りました。誰かの支えがあって生きているということを忘れずに生きていきたいです。（3A女子）

男女どちらも体のつくりが違って、考えていることも違ってることが多いことが分かりました。体のつくりには栄養と睡眠が大事なことも分かりました。お腹の中の赤ちゃんの大きさや心拍数は驚きました。そして赤ちゃんもお腹でいっぱいがんばっていることが分かりました。（3B男子）

思春期とは、男子よりも女子の方が早く来ることが多く、いろいろな感情が出やすくなっていて、思っていないことを言ってしまったりすることがわかった。赤ちゃんの頭の大きさが10cmということを知ることができてよかった。命の大切さやありがたさを知ることができて、お母さんや家族に支えられて今があることが分かり、感謝したいと思いました。（3B女子）

今日の講演会で分かったことは、三食しっかり食べ、体をしっかりコントロールしなきゃいけないんだなと思いました。そして、命はずっとつないできたものだし、親も自分もがんばって生まれてきたということが分かり、これからの自分と友達のことを大切に生活していきたいなと思いました。

（3B女子）

熱き戦いが始まる～明日から一関地方中総体～



<みなトモさん制作>

初夏の風物詩、プール掃除～もうすぐプール学習が始まります～



昇降口前がきれいな花で彩られました



先週、一関人権啓発活動地域ネットワーク協議会より「人権の花運動」としてプランターと花を寄贈していただきました。

寄贈された花は、かがやきAの生徒たちの手によって、プランターや花壇に植えられ、学校生活に彩りを与えています。美しい花を眺めながら、プランターにも記されているように、私たち教職員も子どもたちの「思いやりの心を育てたい」という思いを強くしたところです。

【大会結果】

○U-15県リーグ2部B (サッカー部) 通算1勝0敗3分
第4戦目 千厩中 0-0 北陵中